

令和2年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		令和2年度計画		実施状況		評価		
I 文化事業目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価	
1	自然環境や空間特性を生かし、社会的包摂を意識し幅広い市民が能楽等を知り、学ぶことができる事業の実施	「日本舞踊 早わかり公演」					<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの影響で多くの公演が中止となったが、お客さまからのご要望もあり、開催できる公演のみ、人数制限・新型コロナウイルス感染症対策を行った上で実施した。</li> <li>・日本舞踊早わかり公演は新規講座受講生募集の目的で実施予定だったが、公演が延期となったため、受講生の募集には繋がらなくても、日本舞踊の魅力が伝えられるよう、観て・体験して楽しめる公演を行った。</li> <li>・来場したお客さまから「久しぶりに文化芸術に触れることができて感動した。」というお声を多数いただき、文化芸術に触れる機会をつくることにより、人々の心を豊かにすることにつながった。</li> <li>・「所蔵能装束公開展示」は新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、宣伝をせず虫干しを兼ねた展示のみ実施。散策で訪れたお客さまが立ち寄りでご覧になった。半数は初めて訪れた方で、能装束を見るのも初めてという方が多く、能に興味を持ってもらうきっかけづくりができた。</li> <li>・「能の魅力発信プロジェクト 能 橋弁慶」では、久良岐能舞台の自然環境を活かして、蠟燭能を実施。本社技術グループによる照明効果も追加し、幽玄な世界を演出。他施設ではあまりやっていない公演のため、大変好評をいただき、「また是非やってほしい」というお声をいただいた。また、初心者の方でも分かりやすく観られるよう、ハンドブックを作成し、能楽の普及に貢献した。</li> <li>・「久良岐ワールド」では、能舞台ならではの音の響きを楽しんでいただけるよう、クラシックコンサートを実施。普段とは異なる客層のお客さまにお越しいたいただき、知名度向上につながった。</li> <li>・「KURAKIコンサート」では、ベダル・スティール・ギター、笛、能楽師とのコラボレーションコンサートを実施。幅広い世代の参加があり、知名度向上につながった。また、能楽の新しい形もみせることができた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も新型コロナウイルスの影響は続くことを想定して、感染症対策を行いながら事業を実施していく必要がある。他施設での取り組みも参考にしながら、万全な体制で事業を実施する。</li> </ul>	
		■実施時期	5月	11月23日	-	新型コロナウイルスの影響で11月に延期。		
		□参加者数	80名	58名	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、人数を70名までに制限して開催した。		
		□顧客満足度	90%以上	100%	A	アンケート回収率56.9%		
		「能楽入門」						
		■実施時期	6月	新型コロナウイルスの影響で中止	-	能楽講座受講生募集のためのワークショップとして実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止となった。		
		□参加者数	60名	-	-	-		
		□顧客満足度	90%以上	-	-	-		
		「怪談ナイト」						
		■実施時期	8月	新型コロナウイルスの影響で中止	-	久良岐能舞台の環境を活かし、地元の方向けの公演を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止となった。		
		□参加者数	100名	-	-	-		
		□顧客満足度	90%以上	-	-	-		
	「初釜 竹灯籠まつり」							
	■実施時期	1月	新型コロナウイルスの影響で中止	-	久良岐能舞台の環境を活かした公演を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止となった。			
	□参加者数	100名	-	-	-			
	□顧客満足度	90%以上	-	-	-			
	2	市民の能楽等への関心や理解を深める機会として、久良岐能舞台所蔵の能装束等の展示・公開の実施	「所蔵能装束公開展示」					
			■実施時期	9月	9月6日	-		虫干しを兼ねた恒例の装束展示を実施。
			□参加者数	100名	13名	-		新型コロナウイルス感染症拡大防止で、宣伝をせず実施した為、参加人数は少なかった。
			□顧客満足度	90%以上	100%	A		アンケート回収率84.6%
			「能の魅力発信プロジェクト 能 六浦」					
			■実施時期	11月	11月7日	-		年1回の能の主催公演。分かり易く親しみやすい能を実施。
	□参加者数	120名	69名	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、人数を70名までに制限して開催した。			
	□顧客満足度	90%以上	96%	B	アンケート回収率84.1%			
3	新規利用者の増加に向け、能楽等を中心とした様々な伝統芸能鑑賞等の機会の提供	「第13回久良岐狂言会～野村萬～」						
		■実施時期	2月	新型コロナウイルスの影響で中止	-	令和元年、文化勲章受賞、人間国宝の野村萬狂言会は新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止となった。		
		□参加者数	80名	-	-	-		
		□顧客満足度	90%以上	-	-	-		
		「久良岐ワールド 心地よい時間2」						
		■実施時期	12月	11月29日	-	新規顧客獲得のために実施。久良岐の環境を活かし、一流演奏家による本格的なクラシックコンサートを実施。		
		□参加者数	80名	66名	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、人数を70名までに制限して開催。		
		□顧客満足度	90%以上	97%	B	アンケート回収率78.8%		
		「KURAKIコンサート vol.3」						
		■実施時期	4月	10月24日	-	新規顧客獲得・若年層にも参加していただくための能楽師とのコラボレーションによるコンサートを実施。		
		□参加者数	100名	52名	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、人数を70名までに制限して開催。		
		□顧客満足度	90%以上	100%	A	アンケート回収率53.8%		

令和2年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

4	愛好家未満の立ち位置にある市民へのアプローチ	久良岐まつり 特別イベント							
		■実施時期	10月	新型コロナウイルスの影響で中止	-	-	自治会と協働して毎年行っている久良岐まつりは新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止となった。		
		□参加者数	300名	-	-	-			
		□顧客満足度	90%以上	-	-	-			
		子どもフェスタ							
		■実施時期	7月	新型コロナウイルスの影響で中止	-	-	久良岐能舞台の認知度向上、4歳からの能楽受講生募集のために実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止となった。		
2 子どもたちへの文化芸術へ触れる機会の提供、能楽等の継承のための取組	5	「小学校向け狂言鑑賞教室」 ※磯子区・港南区・南区の公立小学校6年生対象						【成果】 ・横浜市芸術文化教育プラットフォームのアウトリーチ事業に伝統芸能コーディネーターとして参加し、次世代育成に努めた。伝統芸能のなかでも狂言鑑賞を希望する学校が多い反面、伝統芸能(狂言)を扱うコーディネーターは少ないため、久良岐能舞台で5校の学校を受け持ち、狂言の普及に努めた。  【課題】 ・近隣小学校を呼んでの狂言鑑賞教室は、例年大人数での参加となり、人同士の間隔を空けることが困難となるため、中止とした。新型コロナウイルスの影響が落ち着くまでは各回1校ごとに参加していただくなど、制限をしたうえで実施する。	
		■実施時期	11月(3日間)	新型コロナウイルスの影響で中止	-	-	磯子区・南区・港南区の小学校を招待し、狂言教室を実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止となった。		
		□参加者数	1,200名以上	-	-	-			
	6	横浜市芸術文化教育プラットフォーム等のアウトリーチ事業により、幅広い子どもたちへの能楽等体験事業の実施							
		■実施時期	参加希望校と調整	11月16日、11月26日、12月1日、12月21日	-	-	久良岐能舞台受託校数:5校		
		■参加者数	参加希望校による(5校程度)	5校実施 参加者545名	-	-	狂言「柿山伏」の芸術鑑賞及び狂言体験講座を開催。久良岐能舞台のコーディネーター担当は9度目。		
	7	「4歳児からの能楽」							
		■実施時期	4月~3月	新型コロナウイルスの影響で中止	-	-	次世代に能楽を繋げていくために講座を実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止となった。		
		■参加者数	25名	-	-	-			
	3 能楽等の稽古、発表その他の活動支援の取組	8	能楽等の稽古、発表等の活動支援に向けた外部専門家による助言・指導体制等の確保		実施	実施	-		流儀ごとの専門家を講師として迎えた。講座、流儀ごとのお稽古・発表会にて適切に助言・指導を実施。
			利用者情報、活動継続に向けた情報の提供等による活動支援の実施		実施	実施	-		施設HPに利用者情報を提供し、活動継続に向けての支援を適切に実施。
			利用者団体の会員募集支援など新たな愛好者の発掘等による利用者団体の活性化の実施		実施	実施	-		施設HPに施設を定期的に利用する団体の会員募集の情報を掲載。

令和2年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

4 能楽等の技術研鑽・育成支援への取組	11 能楽等の伝統芸能のすそ野を広げる様々な市民向けの謡曲・仕舞・囃子講座等の実施	「久良岐能楽教室 謡・仕舞」(初級) ※ 喜多流、金春流、宝生流の3流で開催	■実施時期 6月から通年	6月から通年実施	-	
		□参加者数 各流5名以上	平均2名	C	喜多流1名 金春流3名 宝生流3名	
		□顧客満足度 90%以上	100%	A	受講生にヒアリングを実施。	
		「久良岐能楽教室 謡・仕舞」(中級) ※ 喜多流、金春流、宝生流の3流で開催	■実施時期 4月から通年	6月から通年実施	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止により、4～5月は休館。休館明けの6月から再開した。
		□参加者数 各流5名以上	平均8名	A	喜多流6名 金春流8名 宝生流11名	
		□顧客満足度 90%以上	100%	A	受講生にヒアリングを実施。	
		「久良岐能楽教室 囃子」	■実施時期 6月から3月	7月から3月	-	
		□参加者数 10名以上	1名	C	目標人数には届かなかった。	
		□顧客満足度 90%以上	100%	A	受講生にヒアリングを実施。	
		「日本舞踊基礎教室」	■実施時期 6月から通年	6月から通年実施		
		□参加者数 10名以上	平均9名	B	目標人数には届かなかった。	
□顧客満足度 90%以上	100%	A	受講生にヒアリングを実施。			
4 能楽等の技術研鑽・育成支援への取組	12 能楽等の講座受講者・愛好者等の活動発表の場を提供、積極的な担い手育成の実施	「日本舞踊基礎講座受講生発表会」	■実施時期 10月、3月	10月11日	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、3月の発表会は中止となった。
		□参加者数 40名以上	34名	C	目標人数には届かなかった。	
		□顧客満足度 90%以上	100%	A	受講生にヒアリングを実施。	
		「久良岐能楽講座受講生研鑽会」	■実施時期 11月	新型コロナウイルスの影響で中止	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止となった。
		□参加者数 50名以上		-		
		□顧客満足度 90%以上		-		
		「4歳児からの能楽 発表会」	■実施時期 10月	新型コロナウイルスの影響で中止	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、講座が中止となった。
		□参加者数 20名以上		-		
		□顧客満足度 90%以上		-		
		■能楽や日本舞踊等の伝統芸能を学ぶ講座受講生や愛好者に活動の成果を発表する場として久良岐まつりプレイベントなどを設定し、伝統芸能の積極的な担い手として育成	実施	新型コロナウイルスの影響で自粛	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、久良岐まつりは中止となった。
		5 能楽等と市民を結びつけるための情報提供及び広報・プロモーション活動の実施	13 WEB ページ等による施設案内、講座情報等の積極的な情報発信の実施	■情報提供サイト上に、施設案内情報、施設利用情報、自主事業情報等を掲載	実施	実施
■ホームページ上の掲載情報は常に最新の情報に更新	実施			実施	-	・年間HPアクセス数57,613件 ・スタッフブログ花頭窓アクセス数8,975件
14 紙資料、ICT 等を活用し、より身近に感じられるような広報・プロモーションの実施	■チラシやホームページ上への掲載、新聞等のマスメディアを通じた広報等、様々な方法、メディア等を通じて市民の目に触れる機会の拡充		実施	実施	-	・自主事業情報等を各種媒体に掲載 フリーペーパー4件、広報よこはま2件、ヨコハマ・アートナビ2件、新聞2件 ・自主事業等のチラシ配架 合計245か所 ・DM配信 年1回実施 配信数145通 ・他施設の情報提供 伝統芸能関係68件ほか212件
	■ICTの進展に添ってより多くの通信系メディアによる情報アプローチにも応えられるように検討		実施	実施	-	・Youtubeに動画を掲載したり、TwitterやFacebookアカウントを開設し、情報を発信。
【成果】	<p>・能楽講座については謡・仕舞講座で8度目の修了者を出した。また、修了後は中級講座へ誘導し、引き続き能楽を学んでいただくことで、能楽愛好者の育成に努めた。</p> <p>・日本舞踊基礎教室では活動の成果を発表する機会を設け、多くのお客様の前で自身の活動の集大成を披露した。発表会を開催することで、受講生のモチベーションの向上につながった。</p>					
【課題】	<p>・年々能楽愛好者が減少している中で毎年新たな受講生を見つけるのに苦労している。今年度も目標人数に届かなかったため、募集方法について検討する必要がある。チラシや事業での呼びかけだけでなく、SNS等も活用して、積極的に募集活動を行っていく。</p>					
【成果】	<p>・WEBサイトは常に最新情報に更新すると共に、職員によるスタッフブログ等での馴染みやすい記事とすることに努めた。また、SNSも活用し、久良岐能舞台を広く周知するよう、情報発信に努めた。</p> <p>・自主事業等の情報提供はWEBサイトの他、訴求力があるチラシの制作を心がけ、市内外の公共施設、文化施設、鉄道駅等着目されやすい場所にチラシ配架を行う他、近隣地域では公共及び自治会掲示板等にも掲示して市民の身近な場所での情報提供に努めた。</p>					
【課題】	<p>・HPについては、より見やすく、久良岐能舞台の魅力さをさらに伝えられるよう、掲載内容を精査していく。</p>					

令和2年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

	15	魅力的で訴求力があり、丁寧で分かりやすい情報提供の実施	■丁寧で分かりやすい内容を併せた、訴求効果のある情報提供を推進	実施	実施	-	・魅力が感じられるHPの運用。	
	16	人権侵害や個人情報漏えい等への適切な配慮	■個人情報の漏洩や利用者、市民の人権を侵害することが無いように適切な運営管理を実施	実施	実施	-	PCは一定時間を経過するとスクリーンセーバーに切り替わり、再度ロックがかかるようにし、やむなく事務所を不在にする際は必ず施錠するようにした。個人情報を含んだファイルを送付する際は、必ずパスワード付きで送るようにした。また、外国人の方向けに英語で案内ができるよう、展示や催事で配布するハンドブックを英語表記に対応するようにした。	
6 能楽等に関する地域との連携、事業の実施	17	施設と地域の相乗効果を発揮し、能楽施設に親しみ、伝統芸能の楽しさを味わうための事業の実施	「第14回久良岐まつり」			-	地域市民と協働して開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止となった。	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サポートスタッフに庭園の清掃や自主事業について等、久良岐能舞台の運営をサポートしていただき、市民協働の運営を推進した。</li> <li>・杉田劇場から雅楽の演奏者が活動の場を探しているというご相談を受け、久良岐能舞台で庭園・舞台を使っての共催公演を実施。多くの来館者にお楽しみいただいた。また、雅楽の演奏者も自身の活動を多くの方に発信することができた大変お喜びになった。</li> <li>・JR磯子駅から「地域と一緒に何かできることを探している」というお話を伺い、私たちがJR磯子駅と磯子区役所をつなぐ役目を担い、話し合いの場を設けた。また、近隣施設に当施設の職員が出向き、施設を撮影・ポスター編集を行い、JR根岸線の各駅に掲示する協力をした。地元企業、自治体、近隣施設と共に地域活性化に努めた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣施設との繋がりが構築できてきているので、今後もこの繋がりを活かして事業連携等を進める。</li> </ul>
			■実施時期	10月24日・25日	新型コロナウイルスの影響で中止	-	-	
			□参加者数	2,000名以上 (プレイベント参加者数を除く)	-	-	-	
	□顧客満足度	90%以上	-	-	-			
	18	市民協働の視点による企画、運営、清掃等のサポートスタッフの活用・発展等の実施	■市民協働の運営	実施	実施	-	サポートスタッフによる運営への協働実施 事業運営: 自主事業実施時2名、庭園清掃: 9名	
	19	本社のノウハウの横展開、他の古典芸能施設、市その他施設・事業等との連携拡大に向けた取組	■他の古典芸能施設や横浜市の事業等との連携の取組み、または検討	実施	実施	-	杉田劇場との共催公演を実施。 JR磯子駅との地域活性化の取組みを実施。	

令和2年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		令和2年度計画		実施状況		評価			
II 施設運営目標		指定管理者提案(要旨)		達成指標		特記事項		自己評価	行政評価
1 能楽等の稽古、発表その他の活動への施設の提供に関する取組	1 公共施設としての公平・公正かつ能舞台としての利用ルールの徹底等による適切な貸出業務の実施	■施設利用や提供について公平・公正に運用	実施	実施	-	横浜市公共施設として公平・公正に運用。	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自主事業の広報のみならず、外部からの問い合わせにも積極的に協力したり、SNSで施設の案内をしたり、様々な機会を利用して施設の周知に努め利用率の向上を図った。</li> <li>諸室の利用について営業を実施したり、利用者によるロコミで、29団体の新規利用を獲得した。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの影響で活動を自粛している方が多く、休館明け後も稼働率が伸び悩んでいる。今後もフクセンが行きわたるまではこの状況が続くことが見込まれる。その中でも、感染症対策をしっかり行い、安全にご利用いただけることをアピールすることで、稼働率の向上に努めていきたい。</li> <li>散策で訪れる方は能舞台を見ずにそのまま通り過ぎてしまうことが多くある。散策から一度足を留めていただき、能舞台に興味を持っていただけるような取組を検討する。</li> </ul> <p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「横浜市文化施設における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」に合わせ、柔軟に市民へ施設を提供していることを確認しました。</li> <li>利用促進について、SNSをはじめ様々な広報や、営業活動等を実施するなどにより、新規団体の取り込みに繋がっていることを評価します。</li> <li>アンケート等から利用者のニーズを把握し、職員で共有を行い運営の改善に取り組んでいることを確認しました。</li> <li>久良岐公園の中に設置されているという特性を踏まえて、施設のことだけでなく、庭園の草木等について、職員の知識を向上し、お客様の問い合わせに丁寧に対応していることを確認しました。</li> <li>装束展や能公演などの自主事業で、英語表記を取り入れ、外国人の方にもわかりやすく伝える取組を確認しました。</li> </ul> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの影響で活動を自粛している方が多くいるが、コロナの影響が少なくなってきたときに、これまで、施設を定期的に利用していた利用者や団体に、また久良岐を利用してもらえるように、関係性の維持を期待します。</li> <li>サポートスタッフのやりがいやインセンティブを上げるなど、参加機会を増やす取組を期待します。また、市民と協働での施設運営を継続して実施できる体制を整えることを期待します。</li> </ul> <p>・現状行っている、英語表記を多言語表記とするなど、より幅広い対応を期待します。</p>	B	
		■能楽等の専門施設として適切な貸出業務を遂行	実施	実施	-	能舞台として求められる利用上のルールを広く利用者に徹底させた。			
	2 開館時間・休館日、利用料金・割引料金・減免等の適切な設定	□開館日数	347日	292日	-	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館があった。			
		■開館時間	9時～22時 ※夜間区分の利用が無い場合は、事前に周知の上、17時で閉館	9時～22時 ※夜間区分の利用が無い場合は、事前に周知の上、17時で閉館	B	適切な開館時間の実施。			
		■利用料金を適切に設定	実施	実施	-	横浜市能楽堂条例のとおり実施。			
		■年間休館日をホームページで公開	実施	実施	-	毎月のスケジュールをHPに掲載。			
	3 支払方法等の利用者サービスの向上による利用促進の実施	■来館による利用申請手続きだけでなく、郵送による申請及び振り込みによる支払いを可能にし、利用者サービスを向上	実施	実施	-	郵送による利用申請及び利用料金の現金書留による支払を可能にした。振込による支払いも可能にし、申請しやすいようにサービスの向上に努めた。			
		□能舞台	54%	42.0%	-	新型コロナウイルスの影響で目標に届かず。			
	4 利用率の適切な目標指標設定(コマ単位)	□和室	42%	26.6%	-				
		□茶室	13%	7.0%	-				
	5 諸室の機能ごとに戦略的営業を展開し、新規利用者の増加に向けた取組	■環境の整備と、より幅広い演出を可能とする取り組みを実施し、利用者増加を図る。また、市内の施設等で行っている愛好者団体等に戦略的に働きかけ、新規利用者の増加となる取組を推進	実施	実施	-	能舞台、和室、茶室等の機能に適していると思われる近隣で活動している愛好者団体・グループに働きかけをし、今後の利用に向けた施設見学のご来館を促した。			
		6 知名度向上に向けた取組	■久良岐能舞台を知っていただくきっかけとなるような取組を実施	実施	実施	-		これまで来館したことのない新しい客層に向けた事業を実施し、新規顧客獲得に努めた。	
	2 利用促進・利用者サービスの向上への取組及びアイデア・ノウハウの活用等	7 運営会議等によるPDCAサイクルの確立	■毎月の運営会議において問題点の改善討議と方針策定、実施	実施	実施	-		コロナ禍での事業実施にあたり、受付フローを見直した。	
■次年度事業計画への反映			実施	実施	-	改善点を次年度に反映。			
■アンケート回収後、翌日集計、職員等の関係者への回覧実施			実施	実施	-	自主事業参加者を対象としたアンケートを実施。			
8 利用者アンケート、利用者との会議等による利用者ニーズの適切な把握、PDCAサイクルの実施		■事業終了後2週間以内の事業報告書作成と関係職員への回覧	実施	実施	-	事業毎のお客さまアンケートを回収後、集計し職員に共有。改善点を次年度に反映。			
		■直ちに実施できる改善点はすぐに実施	実施	実施	-	頂いたご意見は職員に共有し、実施できる改善点はすぐに実施。			
		■利用者・見学者等からの要望や苦情は、直ちに主任、館長に報告し、軽微なものについては即時対応するとともに文化振興課に電話、メール等で報告	実施	実施	-	換気のため、催事中も窓を開けていたが、寒いというお声を多数いただいたため、空調に配慮し、ブランケットの貸し出しを行う等の対策をした。			
9 苦情・要望等への適切な対応、改善に向けた取組の実施		■苦情・要望は、月次の運営会議に報告、討議し、職員全員で共有	実施	実施	-	頂いたご要望は月次の運営会議で職員全員で共有し、対策を検討。			
		■苦情・要望を月次のモニタリング資料に掲載	実施	実施	-	頂いたご要望・ご意見は毎月モニタリング時に共有。			
		■利用が少ない未利用枠の利用促進に向けて、潜在的顧客の掘り起こしとなる提案営業やお試し会などの戦略的な営業を推進	実施	実施	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、自粛	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、他者との接触をなるべく抑えるため自粛。		
11 施設見学希望者への積極的な対応、利用者への配慮の実施		■施設見学の市民への対応は、施設利用者の迷惑にならない範囲で全職員が積極的に対応	実施	実施	-	全職員が対応			
	□来館者数	20,000人以上	9072人	-	新型コロナウイルスの影響で、利用制限等もあったため、目標には届かず。				
12 施設内覧会等の実施による新規利用者の獲得に向けた取組	■久良岐能舞台の更なる市民の認知を促し、新たな利用者の獲得のために施設の案内・内覧会の実施を検討	実施	実施	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、自粛	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、自粛。お問い合わせをいただいたら、お電話でご説明した。			
13 未利用枠の有効活用に向けた積極的な営業活動の実施	■貸館のうち午前などの未利用枠が多い時間帯について、潜在的顧客に対して、それぞれに適切な提案をするなどの戦略的な営業活動を実施	実施	実施	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、積極的には行わなかったが、撮影利用団体にお声がけをした。				

令和2年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

3 運営組織の構造、組織的な施設運営	14	現場運営に最適な現場管理の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>■能楽等の専門施設として必要な知見と実行のみならず、庭園に関する知識を持って注意深く管理にあたり、職員全員が対応する</li> <li>■不足しがちな労働力をボランティアスタッフの協力を得て遂行</li> </ul>	実施	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 日頃より、職員は能楽に関する知識を身につけるよう情報収集を行った。庭園の維持管理についても南部公園緑地事務所と連携しながら適切に実施。</li> <li>- II 3 18のとおり。</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・能楽等の伝統芸能の専門施設として相応しい職員育成のため、能楽に関する知識や意識の向上を図った。また、庭園の花や鳥などについても尋ねられることが多いため、庭園にある草花や生き物についての知識も身に付け、お客さまにご案内するようになった。</li> <li>・市民と共に久良岐能舞台を運営するという視点から、自主事業運営、庭園清掃の2分野に分けてボランティアスタッフとの協働運営を推進した。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度再募集をかけ、新たなメンバーでスタートしたサポートスタッフだが、コロナの影響もあり、活動頻度は多くなかった。今後、活動を促すためメールリストでの活動呼びかけ等も行う。</li> </ul>
	15	適切な人材の配置・職能	<ul style="list-style-type: none"> <li>■館長(統括管理責任者、事業企画): 1名</li> <li>■職員・主任(現場運営管理責任者): 1名</li> <li>■職員(施設運営等): 5名</li> <li>■企画管理担当職員 1名</li> </ul>	配置	達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 適切な人員配置で運営。</li> </ul>	
	16	積極的かつ適切な職員育成の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>■運営会議等を通じた能楽等の専門施設に相応しい認識の理解の促進や他施設での能楽鑑賞等を実施</li> </ul>	実施	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、他施設での能楽鑑賞は自粛したが、各々能楽に関する勉強を行った。</li> </ul>	
	17	アドバイザーの配置・活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>■能楽、日本舞踊・邦楽、古典芸能全般それぞれの分野について、事業企画、実施に関して専門家に適宜意見を求めるなど、専門施設としての一定の水準を確保</li> </ul>	実施	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 能楽講座や日本舞踊講座等の各講師にご意見を伺い、運営に反映。</li> </ul>	
	18	市民ボランティアの配置・活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>■公募による市民のボランティアスタッフ(サポートスタッフ)の事業補助、庭園清掃等の各分野において活用を推進</li> <li>■市民協働の安定的な推進のため、ボランティア保険を付保し、市民と施設の利益となるように実施</li> </ul>	実施	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 令和2年3月末現在のボランティアスタッフ登録: 10名</li> <li>- ボランティア保険を全員に付保。</li> </ul>	
4 本市の重要施策を踏まえた取組	19	個人情報保護についての取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>■コンプライアンスの遵守と個人情報保護の徹底</li> <li>□社内個人情報研修に基づき、確実な個人情報保護を實踐</li> </ul>	実施	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 社内規定及び横浜市の方針に基づく個人情報保護及びコンプライアンスの遵守に関する研修を実施。</li> <li>B プライバシーマークに基づいた研修を実施。</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンプライアンスの遵守、個人情報保護等に関する社内研修により、事務作業の適切な遂行が図れた。</li> <li>・自然豊かな環境を維持するため、所管の南部公園緑地事務所と連携して問題に対応した。</li> <li>・装束展や能公演では英語表記を取り入れ、外国人の方でも楽しめるように工夫した。</li> <li>・施設の維持に関わる委託、管理に関わる物品の購入などで、横浜市内の中小企業に優先発注するようにした。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客の誘致を目的の一つとして作成した簡易能装束を活用して、外国人観光客にアピールしていきたい。新型コロナウイルスの影響が落ち着くまでは難しいが、旅行会社にも営業活動を行い、積極的にアピールしていく。</li> </ul>
	20	情報公開についての取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>■「各年度の業務計画書」「各年度の業務報告書」「各年度の休館日一覧表」のホームページでの公開、請求があった場合は事務所窓口において開示</li> <li>■施設の利用状況等、施設の貸出に関する情報は原則としてホームページに当該月の6か月先まで公開</li> <li>■その他の開示請求については、事務所窓口で対応し、必要に応じて文化振興課と協議の上で対応</li> </ul>	実施	文書の開示請求なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 管理運営に関する文書、施設の利用状況、貸出に関する情報等を、ホームページに掲載。</li> </ul>	
	21	人権尊重についての取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>□人権尊重の考え方を施設内で共有する人権研修の実施</li> <li>■法令等を遵守して適正な管理業務を遂行</li> <li>■公正、公平な管理</li> <li>■利用者の意思及び人権を尊重し、常に利用者の立場に立ってサービスを提供</li> </ul>	年1回	8月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>B 人権に関する研修をテキストで実施。</li> </ul>	
	22	環境への配慮に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>■施設内外の美観を維持するため、毎日、庭園内及び門前周囲の清掃を実施</li> <li>■環境上の問題になるような状況等を発見した場合、所管の南部公園緑地事務所と協議し、対応を依頼</li> </ul>	実施	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 施設の利用状況は6か月先まで公開。</li> <li>- 開示請求なし。</li> </ul>	
	23	市内中小企業優先発注についての取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>■委託、購入、どちらの場合も横浜市内の中小企業に優先的に発注</li> </ul>	実施	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 適切に実施。</li> </ul>	
	24	その他観光MICE振興につながる取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>■横浜市文化芸術創造都市の実現に関わる観光MICE振興のため、恵まれた自然環境と一体的に魅力を形成している施設の特長と共に、来日外国人にも能楽等の伝統芸能の鑑賞の機会の提供を通じて、目的の実現に寄与</li> </ul>	実施	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、自粛	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 能楽公演や装束展示ではパネルやパンフレットに英語表記を追記。HPも英語表記に対応した。</li> </ul>	
	25	能楽等の伝統芸能に関する次世代の育成につながる取組の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>■横浜市中期4か年計画に目標として提起されている「子どもたちや新進アーティストなど、次世代を担う人材を育成」していく必要に対応して、地域の子どもたちを中心とする「4歳児からの能楽」を実施し、能楽等の伝統芸能に関わる次世代の育成を取組む事業を推進</li> </ul>	実施	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 「横浜市芸術文化教育プラットフォーム」の狂言鑑賞教室(アウトリーチ)の実施。</li> </ul>	
5 その他施設運営に関する事項	25	能楽等の伝統芸能に関する次世代の育成につながる取組の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>■横浜市中期4か年計画に目標として提起されている「子どもたちや新進アーティストなど、次世代を担う人材を育成」していく必要に対応して、地域の子どもたちを中心とする「4歳児からの能楽」を実施し、能楽等の伝統芸能に関わる次世代の育成を取組む事業を推進</li> </ul>	実施	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 「横浜市芸術文化教育プラットフォーム」の狂言鑑賞教室(アウトリーチ)の実施。</li> </ul>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統芸能による子どもたちの育成については、横浜市芸術文化教育プラットフォームのアウトリーチ事業への参加により、子供たちの育成に貢献した。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統芸能が今後も長く受け継がれていこう、次世代育成に繋がる取組みを継続して実施する。</li> </ul>

令和2年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		令和2年度計画		実施状況		評価	
Ⅲ施設管理目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価
1 施設・設備の維持保全及び管理	1 施設・設備・備品等の維持管理・保全業務の実施	■業務の基準に従い、適切かつ確実に業務を実施	実施	実施	-	施設巡回保守点検、待合室・全館トイレ洗浄、障子張り替え、全館天窗蛍光灯点検、能装束の自然劣化による綻び修繕とシミ抜き実施。	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庭園等の美観維持のための清掃管理は、職員による適切な維持管理活動のほか、久良岐能舞台サポートスタッフや磯子土木事務所所管のグリーンサポーターも参加して実施し、活発な環境維持推進が行われた。</li> <li>・また、公園を所管する南部公園緑地事務所に働きかけを行い、巨大化した樹木の伐採や剪定が実施され、適切な庭園管理を行った。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・散策される方も多くいらっしゃるため、施設内の設備だけでなく、庭園についても危険な箇所はないか、定期的に巡回を行っている。</li> </ul> <p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から市と連携し、施設及び広大な庭園の管理に係る情報共有を行い、適切に管理が行われていることを確認しました。</li> <li>・施設管理のうち大きな比重を占める庭園の維持管理については、市民のボランティアを積極的に活用し、市民に愛着を持って施設に関わってもらうきっかけとする取組を評価します。</li> <li>・施設の老朽化に伴い、修繕が増加してきています。指定管理者のきめ細かいチェックで、不具合や破損についてすぐに発見することができており、利用者の方々の安全・安心に繋がっていることを確認しました。</li> <li>・磯子消防署のもと緊急時や防災時に速やかな対応ができるよう、防災訓練等を実施していることを確認しました。</li> </ul>
	2 庭園等の周辺環境の維持管理・保全業務の実施	■安全で安心に利用できる久良岐能舞台の庭園環境を実現するため、所管の南部公園緑地事務所と緊密な連携を行い、快適な環境が保全されるよう対応	実施	実施	-	樹木の伐採、剪定を南部公園緑地事務所に要請し、実施。竹林整備、落葉堆積物除去、上・下池浚渫、老朽化・危険樹木等伐採、剪定、庭園刈込み、庭園清掃を実施。	
	3 警備・安全管理業務の実施	■見回りの実施等、敷地全体の犯罪や火災等への警戒と事故等の未然防止活動と安全管理を実施	実施	実施	-	見回り: 日中 適宜実施、夜間 1時間毎実施。	
	4 専門的な見地に基づく能舞台、能装束等所蔵品の管理実施	■能舞台の日常点検を実施 □専門家に意見を仰ぎながら能装束の虫干し実施、定期的な防虫剤交換	実施 年1回	実施 1回	- B	毎日清掃時及び利用後に点検を行い、異常の有無を確認。 能装束を保管している鏡の間の除湿機を常時稼働。和箆管内の水取り剤、防虫剤を適宜交換。	
2 小破修繕への取組	5 日常点検等による、きめ細やかな施設管理に基づく予防保全の実施	■毎日の清掃時に各部分の目視による点検を行い、変化が見られる場合はより詳しく点検を行い、その状況に応じて対応	毎日	実施	-	日常点検に基づく予防保全を適切に実施。	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の維持のため、障子の張替えや竹林整備、池の堆積物除去等、長寿命化のための維持管理を実施。職員自らの手で行うことで、費用の縮減だけでなく、不具合や破損についてすぐに発見することができている。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の老朽化が進んでおり、指定管理者で対応できることや日常点検は適切に実施しているが、引き続き市と連携し、順次設備更新等を行っていく。</li> </ul> <p>【更なる取組を期待する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の老朽化に伴い、修繕等が増加していくことが考えられるため、引き続き日常点検を実施し、利用者が安全・安心して利用できるように市と連携して適切に対応を行ってください。</li> <li>・施設の特性や立地において災害等の影響を受けやすいため、近隣の学校等の広域避難場所を確認しておくとともに、施設利用者の誘導など必要な対策をまとめたマニュアルを適宜、更新し続けてください。</li> </ul>
	6 施設長寿命化の観点に基づく施設管理の実施	■施設を長寿命化する観点から、少しの不具合も見落とすことなく、直ちに適切に対応	実施	実施	-	清掃時や巡回時に建物・備品についてもチェックをし、軽微な不具合であれば自分たちで速やかに修繕を実施。時間がかかる場合は、利用者に声をかけ、触れないように呼びかけたりした。	
	7 迅速かつ臨機応変な施設管理・修繕対応の実施	■施設のいずれの部分においても不具合や破損等が発見された場合は、その状態に応じ適切に対応 ■小破修繕の対象となる場合は、できるだけ早く施設利用の妨げにならないように対応	実施 実施	実施 実施	- -	利用者の妨げにならないよう適切に対処。	
	8 小破修繕の適切な実施	■職員が修繕対応する場合、施設利用者の妨げとならない時、施設利用が無い時、或いは休館日に実施 ■専門業者に委託する場合、市内の複数の業者から見積りを徴収し、最低価格の業者に委託 ■現に設置されている設備の場合は同一製造者の市内代理店等を基本とし、参考の為その他の業者からも見積りを徴収	実施 実施 実施	実施 実施 実施	- - -	市内の業者から見積りを徴収し、最低価格の業者に委託。	
3 事故防止体制・緊急時(防犯)の対応・感染症対策等衛生管理	9 庭園内の安全管理、火災予防の実施、危機管理対策	■大きく成長した樹木の多い庭園を持ち、純木造の建物の施設であるため、安全管理や火災予防など、全体的な観点から危機管理対策を推進	実施	実施	-	・庭園内にある老化した樹木や警戒を要する枝、降雨時の滑りやすい階段や斜面で事故が発生しないよう、予防措置を実施。 ・災害の予測に基づく対応・対策・訓練を実施。	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・磯子消防署指導による防災訓練を実施するとともに、設備点検を依頼している(株)ニチナンメンテ指導による火災訓練・火災受信機操作の訓練を行い、緊急時の対応について今一度見直しを行った。</li> <li>・庭園における事故を未然に防止するため、巨大化樹木の伐採等、南部公園緑地事務所と緊密に連携して対処した。これにより、事故の防止だけでなく、景観の維持にもつながっている。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・強風雨等、激甚災害化する天候で被害を受けやすい谷戸地形にあるため、効率的な対応処置方策について今後も検討を行う。</li> </ul>
	10 危機管理マニュアルの整備と非常時対策訓練の実施	■久良岐能舞台及び敷地等における災害の予測に基づく対応マニュアルの整備と、対策・訓練を実施 ■施設内及び庭園内における事故等の発生を未然に防止するため、危険箇所の早期発見や危機発生の可能性に注意し、日常的に点検し、対処 □事故等発生時の対応について、防災訓練を全職員で実施	実施 実施 年2回	実施 実施	- - B	横浜市災害対策に基づき、危機管理マニュアルを整備し、随時更新。また、磯子消防署指導による防災訓練を実施。 施設内及び庭園内における事故発生を未然に防止するため、危険箇所の早期発見、危機発生の可能性を日常的に点検、対処。 ・7/20磯子消防署指導の下、消火・AED取扱出前講習会体験実施 ・4/20、9/3(株)ニチナンメンテ指導による火災受信機操作の実施	
	11 緊急時(事故・犯罪の発生時)の対応方針、対策	■緊急事態が発生した場合は、直ちに必要措置を講じるとともに、文化振興課を含む関係者に対して緊急事態発生を旨を通報すると共に、市と協力して原因調査を実施	実施	実施	-	防災訓練において対応措置の実施訓練を行った。	

令和2年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

	12	感染症対策等の衛生管理の実施	<p>■日常的に衛生管理を行うため、玄関の分かりやすく目に付くところに消毒薬を配置</p>	実施	実施	-	玄関入ってすぐの待合室に消毒薬を配置。	
			<p>■新型インフルエンザ、感染性胃腸炎(ノロウイルス等)等の感染や拡大を防ぐ目的で、保健所の指導を受けて対応マニュアルを整備</p>	実施	実施	-	感染症対策のマニュアルを整備し、随時更新した。	
			<p>■汚物(嘔吐物や糞便)については、適正な方法で処理し、消毒を実施</p>	実施	実施	-	感染症対策等の衛生管理は適切に実施。	
			<p>■衰弱した鳥や動物、死亡した鳥や動物を発見したときは、磯子区福祉保健センターに対応方法を相談</p>	実施	実施	-	鳥の屍骸を発見した際は、資源循環局に報告し、専門業者に処理を委託。	
4	13	緊急時の連絡体制・役割分担(職員体制)	<p>■久良岐能舞台緊急連絡網を作成し、文化振興課に提出するとともに、全職員に周知徹底</p>	実施	実施	-	久良岐能舞台緊急連絡網を作成し、文化振興課に報告すると共に、全職員に周知。	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災対応として、磯子消防署の指導の下、消防・防災訓練を実施。有事の際にもすぐに動けるよう、全職員を対象に継続して取り組んでいく。</li> <li>・消防署指導の防災訓練のほか、設備点検を委託している会社指導の下、消火・通報・避難・火災受信器取扱の訓練を全職員で実施し、災害に備えた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の収納スペースに限界があることから、災害発生時の備蓄は職員用のみとなっている。久良岐能舞台は避難所指定の施設ではないが、近隣住民や利用者が避難してくる可能性もあるため、今後に向けた検討が必要。</li> </ul>
			<p>■甲種防火管理者を選任すると共に久良岐能舞台防災計画書を作成し、所轄の磯子消防署に提出</p>	実施	実施	-	甲種防火管理者を選任し、磯子消防署に防災計画を提出。	
	14	自衛消防組織の結成、平常時の防火・防災対策	<p>■自営消防組織を結成し、日常の防火、防災に努める</p>	実施	実施	-	全職員が消火・避難・連絡に当たれるように訓練を実施。	
			<p>□横浜市防災計画に基づき、定期的に消防、防災訓練を実施</p>	年2回	4月20日、7月20日、9月3日	B	Ⅲ 3 10のとおり。	
	15	災害発生時の取組、施設状況の把握	<p>■直ちに消防署等に通報すると共に、緊急連絡網に記載された通り関係者に対して緊急事態発生を通報し、必要な措置を講じつつ状況の把握に努める</p>	実施	実施	-	災害発生時の連絡、状況把握等について、必要な対応がとれるよう、訓練を実施。	
16			災害時等の市への協力	<p>■災害等が発生した場合、市に協力してその原因調査を行う</p>	実施	実施	-	防災訓練において、防災伝言ダイヤルに連絡訓練を実施。
	<p>■大規模な災害等が発生し、行政機関において災害対策本部等が設置された場合は、その指示に従うと共に、行政機関の災害対応に協力</p>	実施		実施	-			
5	17	光熱水費削減努力	<p>■施設稼働率の上昇に伴い光熱水費が増加傾向にあるため、施設利用の無い時間は原則として消灯、空調機停止など、電力削減に努める</p>	実施	実施	-	施設の利用がない時は消灯するなど、適切な空調管理を行い経費削減に尽力した。	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・光熱水費削減努力を行ったこと、また新型コロナウイルスの影響で貸館利用が減少したこともあり、光熱水費の前年度比は84.3%となった。</li> </ul>
			<p>□光熱水費</p>	年間130万円	1,224,361円	B		



令和2年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		令和2年度計画		実施状況		評価	
IV 収支	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価
1 適切な収支構造及び収支バランス	1 収支構造の検証	■厳しい収入と欠かせない費用のバランスについて、常にチェックを行い、不適切な収入とならないように推進	実施	実施	- 毎月、収支バランスをチェックした。	<b>【成果】</b> ・イベント内容の工夫・環境の整備をして久良岐能舞台の知名度を少しずつ向上させてきた。 ・極力経費を抑制して事業を実施し、収支のバランスに近づけるよう努めた。 ・支出を抑えるための取り組みとして、チラシやチケット、プログラム等は職員自らの手で作成したり、音響や照明のオペレーターは社内のスタッフに依頼する等、経費削減に努めた。  <b>【課題】</b> ・自主事業については人気の高い狂言や能の公演でも消防法の関係で、限られた人数しかご来場いただけないこともあり、収入の増加を図るのは困難な状況。庭園での事業実施等、様々な方法を模索している。 ・講座については欠席する生徒が多いため、受講生の増加が、そのまま収入の増加に結びついていない。講師の先生方とも相談しながら、受講生がなるべく欠席しないような取組を検討していく。	<b>【評価できる点】</b> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、自主事業の実施や集客について、厳しい状況の中、事業の中止、延期や収容人数の制限等を行い、施設に求められている役割を果たすとともに、収支状況を適切に管理されたことを評価します。  ・貸館利用増加のための様々な取組が、新規利用者増加という結果に繋がっていることを確認しました。  ・支出を抑える取組として、職員の手で様々なことを行っていることを確認しました。  ・利用者アンケート等を、施設で共有し適切に対応していることを確認しました。  <b>【更なる取組を期待する点】</b> ・限られた人数しかご来場いただけないことから、公演で収入の増加を図るのが難しい施設です。そのため、持続可能な施設運営を行うにあたり、国や関係団体からの助成や近隣施設からの協賛はとて重要で。収入を高めるため、講座等の参加者の増加に向けた取組、貸室の利用率を上げるための取組、と共に助成金や協賛金など多様な財源を確保するための取組を進めることを期待します。
	2 予算・決算、収入・支出のバランス	■予算は守るべきガイドラインとして毎月の月次決算において確認し、四半期ごとに収支が適切にバランスするように運営  ■決算は月次、四半期、通期と行い、年度末においては目標とする収益が確保できるように実施	実施	実施	- 予算の実施に当たってはできる限り費用抑制に努め、全体として収支の均衡に努めた。  - 予算/決算、及び収入/支出はいずれも新型コロナウイルスによる影響でバランスが崩れた結果、赤字に傾いた。		
	3 自主事業収支の適切なバランス	■事業費見積の参加者数を確保するために必要な条件を検討し、それぞれの自主事業の収支の適切なバランス確保に努める	実施	実施	- 廉価で質の高い公演の実施、さらに新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、人数を半分に制限したことにより、大幅な赤字となった。 自主事業全体収支実績-3,004,746円 (前年度:-3,125,375円)		
2 指定管理料のみに依存しない収入構造	4 指定管理料以外での収入確保に向けた構造づくり	■施設稼働率は高いものの、諸室別の利用率は低い部分があるため、改善を検討  ■自主事業については、主に講座の参加料収入が伸び悩んでいるため、改善を検討	実施	実施	- 施設の周知を図る広報の成果が得られた。 新規利用団体・・・29団体増  - スタンプカード制度を見直し、参加者増加を図ったが、新型コロナウイルスの影響で講座を欠席する生徒が多く、改善に繋がらなかった。	<b>【成果】</b> ・発表会等の会場を探している利用団体に声をかけたり、貸館利用についてまとめたチラシを配架したり、SNSで利用を呼びかける等、貸館利用者増加のための営業の結果、新規利用者が増加した。  <b>【課題】</b> ・自主事業アンケートから得られる情報は、より自由で幅広い種類の事業が望まれている。頂いたご要望は、久良岐能舞台の施設特性とのすり合わせを行い、事業に反映させることのできる企画の推進を進めていく。	
	5 戦略的かつ積極的な貸館収益の増加に向けた取組	■諸室時間特別にみた未利用枠の稼働を目標に、付加価値のある貸館営業を潜在的顧客に向けて多様な戦略的営業として展開し、貸館収益の向上を図る	実施	実施	- 伝統芸能にとらわれず、広く受け入れる姿勢で貸館を行い、婚礼写真撮りやドラマの撮影等、多様な新規利用者を獲得。		
	6 マーケティングを活用した事業推進による自主事業収入増加に向けた取組	■自主事業アンケート及び利用者に関するデータベースの分析で得られる情報により、選択的に事業収入の増加に寄与する取組を推進	実施	実施	- 自主事業アンケートでは、より自由で幅広い種類の事業が望まれている。そのため、久良岐能舞台の施設特性とすり合わせた企画を推進した。		
	7 企業協賛、助成金等の活用によるファンドレイジングの実施	■自主事業に対する地域の企業等の協賛を開発し、事業収益の改善を図る  ■芸術文化振興基金、地域創造等の助成金を獲得するように企画し、事業が推進しやすい資金環境を整備	実施	実施	- 協賛は得られず。  - 蠟燭能の公演において、日本芸術文化振興基金から293,000円の助成金を獲得。		
	8 「選択と集中」による運営経費の抑制と利用者ニーズへの対応	■施設運営に関するデータから見る傾向及び利用者に関するニーズの傾向から、特徴的なニーズの推進及び、施設の使命としてなすべき事業を中心に運営経費の選択と集中を図る	実施	実施	- 次世代の伝統芸能愛好者の育成が必要と考え、自主事業全体の約4割もの費用を集中し、中心的自主事業として能楽等の講座を実施。		
3 経費削減等効率的運営の努力	9 自己点検・評価による効率的運営の実施	■利用者アンケート、事業参加者アンケート、事業ごとの事業実施報告書等による自己評価と点検により改善点を抽出し、改善を推進  ■日常的施設運営においては、各種業務記録、日報などを基に定期的なミーティング等を通じて検討し、直ちに改善を実行	実施	実施	- 利用者アンケート、事業参加者アンケート等をもとに職員全員で自己評価と点検を実施し、課題については改善するよう努めた。また、自己点検・評価による効率的運営を適切に実施。  - 日常的運営においては、各種業務記録、日報などを基に定期的なミーティングを通じて検討し、直ちに改善を実行。	<b>【成果】</b> ・久良岐能舞台としてなすべき事業、望まれている事業を中心に実施。 ・利用者アンケート等をもとに職員全員で自己評価と点検を実施し、課題については改善するよう努めた。 ・日常的運営においては、各種業務記録、日報などを基に定期的なミーティングを通じて検討し、直ちに改善を実行した。  <b>【課題】</b> ・更なる知名度向上のため、伝統芸能以外の分野についても視野に入れ、事業内容について検討していく。	

令和2年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		令和元年度計画	実施状況	評価	
総括	特記(提案事項要旨)	達成指標	特記事項	自己評価	行政評価
	1			<p>●文化事業の総括 新型コロナウイルスの影響で、自主事業についてはしばらく自粛をしていたが、事業再開した際に、来館されたお客さまに「来て良かった」「事業再開してくれて嬉しい」「生きる活力になる」と言うお言葉を多数いただいた。文化芸術は人の心を豊かにするもので、このような情勢だからこそ、文化芸術活動は必要とされているのだと改めて実感した。今後も、感染症対策には十分気をつけながら、事業を実施していきたい。</p> <p>各種講座については、新規受講者の獲得に苦戦している。新規受講生獲得に向けて広報活動により力を入れていく。</p> <p>●施設運営の総括 SNSやブログも活用して情報発信を行ったところ、多くの方に久良岐能舞台を知っていただくことができた。これにより、能楽以外で撮影での利用等、幅広い目的で利用される方が増加した。新型コロナウイルスの影響もあり、積極的な誘致活動が行えなかったため、ウイルスの影響が落ち着いたら、利用増加・事業参加者増加に向けた広報・営業を積極的に行っていく。</p> <p>●施設管理の総括 新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に措置として、消毒液の常備、非接触体温計の設置、換気対策の実施、アクリルパネルの設置等、感染者が出ることのないよう、横浜市のガイドラインに従って、感染症対策に努めた。自主事業実施の際は、受付フローや公演プログラムを見直し、最大限配慮した。</p> <p>●収支の総括 障子の張替えや雨戸波板外れ等の小破修繕は職員自らの手で行い、なるべく支出を抑えるよう取り組んだ。また、新型コロナウイルスの影響で利用が少ないという事もあり、空調管理や節電にも積極的に取り組んだ。事業については、年間を通して実施している各種講座について、受講者数が目標に届かず、今年度は新型コロナウイルスの影響で欠席も目立ち、収入には結びつかなかった。講師とも相談しながら対策を検討していく。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、事業を実施することが難しい状況の中、「横浜市文化施設における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」に合わせ柔軟に施設運営を行い、市民の要望に応えながら文化芸術活動を継続したことを確認しました。また、公共交通機関、行政、近隣施設をつなぎ地域活性化に努め、文化的 commons の形成に寄与したことを評価します。</p> <p>令和元年度に高い評価を得た「4歳からの能楽」は残念ながら中止となってしまいましたが、芸術文化教育プラットフォームにおいて、伝統芸能(狂言)のコーディネートを担当など、次世代育成に寄与したことを評価します。</p> <p>外出が難しい状況を踏まえ、SNSやHPの改訂等を行い、自宅に居ながら施設情報を見ることができ興味を持ってもらうなど、施設の認知度向上に繋がる取組を確認しました。支出を抑える取組して職員の方の手で様々な修繕等が行われていますが、法令順守、安全第一で実施していただきますようお願いいたします。</p> <p>今後、コロナの影響がより小さくなった時に、久良岐能舞台の環境を活かした事業の実施を期待します。また、外国人に向けたアプローチや、能楽鑑賞の初心者への対応など、様々な方が能楽を楽しむ事が出来る工夫を引き続き行い、より幅広い方々に能楽をはじめとした古典芸能を普及する取組を期待します。</p> <p>施設管理に関しては、施設だけでなく庭園の維持管理等を、日々きめ細かく対応されていることを確認しました。また、ボランティアスタッフが庭園管理に関わるなど、地域の文化施設として市民協働を進めていることを評価します。</p> <p>今後も、職員間や本市との情報共有を徹底することにより、施設の長寿命化を見据えた維持管理を継続して行ってください。</p>